

市議会レポート

NEWS Yaizu 2023.5 vol.01

藤岡まさや
公式HP



ご挨拶

焼津市民の皆様、今年2月22日に市議会議員になったばかりの藤岡まさやです。これからの任期4年間、地域や市の課題に対して誠実に向き合っています。どうぞよろしくお願いいたします。あわせて市民の皆さんに対し、市議会の事や市役所の事など、市政を身近に感じていただくための活動も進めています。私自身サラリーマン時代には、市議会議員の仕事や役割、市長や焼津市との関係など全く分かっていませんでした。この市議会レポート・市政報告会を通じて、できる限りわかりやすく伝えていきたいと考えております。皆様からの声でどんどん修正していきますので、どうぞ遠慮なくご意見をお寄せください。

ぜひご参加ください!

～市政を身近に～

市政報告会のご案内

はじめての市政報告会を開催いたします。本紙面では伝えきれない、議会に初めて参加した一市民のリアルな声をお伝えします。焼津市民の方ならお年寄りからお子様までどなたでも大歓迎です。学生の皆さんもぜひご参加ください。

市政報告会プログラム

- 1 市民と市議会・市長・市役所との関係
- 2 市議会議員の役割
- 3 市議会の組織・体制・年間計画
- 4 2月定例会の報告

東小川会場 定員50名

日時 2023年5月27日(土) 15:00~16:30
場所 小川東公会堂：焼津市東小川2丁目1281-1

小川会場 定員200名

日時 2023年5月28日(日) 15:00~16:30
場所 小川公民館：焼津市小川2724-1

▶ご要望があればごく少人数でも「市政報告会」を追加開催いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

焼津市議会の年間計画

令和5年度



6月定例会	6月1日	▶	6月28日	本会議4日・委員会1日
9月定例会	9月1日	▶	10月4日	本会議5日・委員会2日
11月定例会	11月16日	▶	12月15日	本会議4日・委員会1日
2月定例会	2月15日	▶	3月19日	本会議5日・委員会2日

2月定例会

2月24日～3月24日 (本会議5日・委員会2日)

令和4年度2月定例会議が上記日程で開催され、藤岡も初めて参加しました。定例会開催後には、その内容をまとめた議会だよりが発行されます。「やいづ議会だより2月定例会」(5月15日発行予定)もあわせてご確認ください。また2月定例会最大の議題「令和5年度予算」については既に配付済の「広報やいづ令和5年4月1日号」で詳しく説明されています。

主な議案

- ・令和4年度補正予算 可決
- ・令和5年度予算：可決 可決
- ・公共施設利用料金変更条例他 可決
- ・代表質問(会派のみ)：凌雲の会・公明党・共産党
- ・一般質問：9名

藤岡も初めて一般質問に立たせていただきました



2月22日に議員任期がスタートし、2月24日には議会がスタート。正直理解不足で臨んだ2月定例会でした。年度予算案は事業が多岐にわたるため、各委員会で担当部局ごとに質問と確認。予算決算特別会で3名の委員長が委員会における採決結果を報告し、最後は全員で採決となりました。私が所属する建設経済常任委員会において以下を含め13の質問をさせていただきました。

議会での質問内容は裏面へ▶▶

令和5年度予算案に対する藤岡の質問と当局側の答弁

「さかなセンター活性化対策事業費」11,200千円

藤岡 Q1. 予算の内訳は。

経済部 A1. 主に空き店舗活用の改修や出店に対する補助・PR事業は「さかなセンター祭り」など

「やいづワーク（新しい働き方）導入事業費」54,987千円

藤岡 Q2. 漁具倉庫ワーケーション拠点施設などの事業が焼津市への移住、焼津市での起業などにどのように結びつく想定して推進されているのか。

経済部 A2. 関係人口増に効果。外部企業の焼津への呼び込み・焼津進出の首都圏企業への移転をPRも。

「空き家利活用対策事業費」7,799千円

藤岡 Q3. 令和4年度の対策結果と減額の理由は。

政策都市部 A3. 当初予算からは55.4%減だが子育て世代の補助などで補填している。

初めてでしたが、あくまでも市民目線で「この事業予算は適正なのか」「前年と比較して増減の理由」「新規予算の事業内容詳細は」などの観点で質問させていただきました。本年度も行われる事業決算、令和6年度予算にむけて、市役所が目指すべき「最小の経費で最大の効果を（地方自治法第2条）」に繋がるよう私自身が勉強してまいります。



藤岡の一般質問

焼津市議会映像配信でもご覧いただけます。ぜひご確認ください。



一般質問は会派所属・無所属にかかわらず、議員に与えられた権限です。議会開催時には事前通告さえすれば毎回でも質問が可能です。初当選でもあり悩みましたが、何事も一歩を踏み出し経験しなければ成長に繋がらないと考え、チャレンジしました。内容は以下の2テーマです。

01 市議会議員選挙投票率低下対策について

2月5日に実施された焼津市議会議員選挙の投票率は45.44%と過去最低を更新し、市民の関心の低さが明確となった。選挙公報は、候補者全員が平等に与えられた面積の中で主張を表現するが、有権者全員が手元で確認をし、比較することで公平な候補者選択がなされるべきものだと考える。

藤岡 Q1. 選挙公報は新聞折り込み配布だった。新聞購読率は全世帯の約60%と想定。新聞未購読の有権者世帯には、選挙公報がどのように届けられたのかうかがう。

A1. 広報やいづの郵送世帯に対し送付。補完措置として、市役所、公民館などの施設に配架。

藤岡 Q2. 全戸配布を前提に考えているか。

A2. 焼津市は全戸配布を前提にはしていない。

藤岡 Q3. 全戸配布が前提として考えるべきだと考えるが、今後その検討をされる可能性は。

A3. 他市の状況を参考にし、選挙管理委員会の中で研究をしていきたい。

答弁の中で、選挙管理委員会は「公平公正」の言葉を多用されましたが、公平公正に配付すべき選挙公報が、新聞購読世帯プラスアルファである一部世帯にしか届けられていません。候補者の主張すら比較検討できないことで、市議会議員選挙への関心はますます薄れ、投票率改善は見込めません。全戸配布実現まで今後の一般質問で継続して求めてまいります。

02 デジタル化による市民サービスの向上について

昨年12月20日スタートの焼津市公共施設予約システムは体育施設・公民館・小中学校の体育館やグラウンドを予約・申込する目的だが、市民にとって利便性が向上していないとの指摘がある。

藤岡 Q4. システムに関する意見や要望は寄せられているか。

A4. インターネットにより時間にとらわれずどこでも行え、大変便利になった。使用料の支払い方法などご意見が寄せられている。

今後様々な行政サービスにおいてデジタル化が進められるが、その仕様検討は各課の職員である。

藤岡 Q5. デジタル化を検討する職員に対する教育やルールの策定に関する市の考えを尋ねる。

A5. 焼津市DX推進計画において常に利用者目線や業務効率化の意識を持ち、手続き全体を見直す事が重要であると認識している。

藤岡 Q6. 職員に対する今後の教育は。

A6. デジタルに関する職員の研修は非常に大切なことだと思っている。現状ではそれほど多い研修会は開催されていない。また検討する。

焼津市は他の自治体と比較してもデジタル化の進んだ自治体です。それは素晴らしいのですが、デジタル化やDXは難しく、市役所職員も苦労しています。そのため外部の業者に任せてしまう可能性も高く、本当に市民のためのシステムになるのか、税金を投入し本来の成果を得られるのか、をチェックする必要があります。IT系民間企業勤務の経験を活かし、今後も質問してまいります。